

~~~~~ ○ ~~~~~  
午前10時00分 開議

○議長（林 健児君）

ただいまの出席議員数は12人です。定足数に達していますので、ただいまから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、議案第25号大治町印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例についてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原経夫でございます。この条例改正は押印を廃止していくものでございます。しかしながら、ちょっと例規集をごらんください。第3編執行機関の中の固定資産評価審査委員会条例がございます。これをごらんください。「第7条第3項 前項の調書には、次に掲げる事項を記載し、意見を聴いた委員及び調書を作成した書記がこれに署名押印しなければならない。」ということで押印ということが残っております。同様に第8条第8項、第9条第2項、第10条第2項にも残っております。町民に直接かかわりのあることではございませんが、記名の方が押印よりまだ重要性があるという中で押印が廃止されてきたという経緯もございますので、なぜ残していくのか。また、議案説明会の中で10月1日に規程も同時に変えていくということでございます。町民に関係するところで押印が残っている部分、規程の中で残す部分はどこなのか。また、職員の中でも押印がございます。そこら辺残していくのはどういうところなのか。それをお答え願います。以上です。

○総務部次長兼税務課長（猪飼好昭君）

議長。

○議長（林 健児君）

税務課長。

○総務部次長兼税務課長（猪飼好昭君）

1点目の御質問でございます。大治町固定資産評価審査委員会条例の中で押印を残す理由ですが、仮に訴訟となった場合、裁判でこの委員会が作成した書類が証拠として扱

われる場合がございますのでそういうことなどを考慮し委員会側は署名押印を残すと、押印を残すという扱いとさせていただきました。以上でございます。

○総務部長（大西英樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

総務部長。

○総務部長（大西英樹君）

2点目の御質問の押印を残すもの等々につきまして答弁させていただきます。大治町が持つ条例を含めて規則それから要綱、規程等々ございます。その中で手続で押印を求めるものが今洗い出しをしているものが385件程度ございます。その中で押印を廃止していくものというものが361件。パーセントにして93.77%は廃止していくという方向性で今処理を進めてございます。また存続するものとしましては、今4件ちょっと考えておりますが、選挙人名簿の閲覧の申し出に係る押印、それから民間地縁団体の印鑑登録の申請、廃止、証明の発行等々ということで今4件はこれは存続していきたいと考えております。また、今検討中のものもございまして、それがまだ10月1日までにその必要性をよく検討してまいりたいということでまだ作業中のものもございまして。以上です。

ちょっと答弁漏れがございました。職員のものにつきましては職員の事務に係る決裁のものとかいったものがございますが、これは決裁につきましては今のところはそのまま存続していく予定でございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

町民に直接関係していくのは出生届、婚姻届などがあると思うんですが、そこら辺のものはどうでしょうか。なんか新聞報道などによると残していくという感じなんですがどうでしょうか。それは町が直接関係ないんでしょうか。

○総務部長（大西英樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

総務部長。

○総務部長（大西英樹君）

先ほど答弁させていただきました手続に関しましては、大治町が例規上定めているも

のでございます。したがって、法律で定まっているもの、愛知県の規則等で定まっているものについてはこの対象とはしてございません。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第25号は、総務建設常任委員会に付託します。

日程第2、議案第26号令和3年度大治町一般会計補正予算（第3号）を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○6番（若山照洋君）

議長。

○議長（林 健児君）

6番若山照洋議員。

○6番（若山照洋君）

42ページ、償還金のところなんです、保育対策総合支援事業費国庫補助金。これ令和元年度分の返還金なんです、44ページ、子育てのための施設等利用給付交付金に伴う財源更正と、その下段の子育て支援施設等利用給付費負担金決定に伴う財源更正の令和元年度分の説明と、今回、小中学校と公民館で網戸を設置するんですが、既存の窓枠にそのまま設置できるのかどうか。以上お聞きします。

○子育て支援課長（古布真弓君）

議長。

○議長（林 健児君）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

まず42ページの保育対策総合支援事業費国庫補助金の令和元年度分返還金についてでございますが、こちらにつきましては令和元年度コロナ対策事業として保育環境改善等事業がありました。令和2年度への繰り越し分を含む保育対策総合支援事業費補助金について、令和3年度の返還対応となったものでございます。

続きまして44ページの子育てのための施設等利用給付費交付金と子育て支援施設等利用給付費負担金の令和元年度分につきましては、これ国と県と同じような内容のものなんです、子育て支援施設等利用給付については保護者の申請により償還払いするもので、令和元年度を令和2年度分に給付したのものについては令和元年度分として追加交付

を受けるものでございますのでよろしくお願いいたします。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

議長。

○議長（林 健児君）

学校教育課長。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

今回、小学校中学校につけさせていただく網戸でございます。窓枠ですね、サッシがそのまま使えるかというようなところで、使えるところがほとんどですが、一部下にレールがないところがありますのでレールをつけるという予定のところがありますのと、あと北側の方は固定をするような箇所もあるということで、それは現場確認しまして可動ができないようなところは固定で入れさせていただくという予定をしております。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

議長。

○議長（林 健児君）

公民館長。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

公民館の網戸ですが、基本的にはそのまま既存の枠にはまるものをつける予定でございます。ただ、2カ所ほどレールをつけて設置する場所がございます。以上でございます。

○6番（若山照洋君）

議長。

○議長（林 健児君）

6番若山議員。

○6番（若山照洋君）

そのレールというのは窓枠にそのままつけられる。なんかどうやってつけるのかなど。ちょっと言葉があれなんです。枠はそのままレールだけをつけられるのか。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

議長。

○議長（林 健児君）

公民館長。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

現在の枠にレールを継ぎ足して設置するものでございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

何点かございますか、まず先ほどの議員も質問された14、16、42、44の令和元年度の償還でございます。これは令和元年度で国からお金をもらって繰り越しをして、また返還されたもんで令和元年度にという意味なのかどうか。

あとは、48ページごらんください。海部地区急病診療所組合負担金がふえてございます。診療収入が減ったという御説明でしたが、昨年度なんか診療時間が減っている。コロナの関係でお医者さんの関係で減っておるわけですが、今年度も診療時間が減っているとかそういうような状況なんでしょうか。ただ単にかかる方が減ったのか。どちらなんでしょうか。

次に、56ページお願いいたします。補償、補填及び賠償金、一番下です。物件補償費でございますが、土地購入費なんかは鑑定してもらうものでいいですが、物件補償の場合、どのようにお金をこの金額を決めているのか。そこら辺の根拠、そこら辺をお示してください。

あと60ページでございます。大治小コンピューター室改修工事。これは一般質問の中で説明がございましたが、ただ、普通教室に2つ分確保するという事で来年度はいいと思うんですが、何年間ぐらいそれでもつ予定なんでしょうか。まだまだ大治小、来年は3年生ですが4年生、5年生、6年生と35人学級になっていく。また、子供の数もふえていく中で、この補正でどこまで対応できるのかということでございます。

次に、網戸の関係でございます。ちょっとページ数言いませんが、小中の場合ですね、ベランダがないところだと2階から4階はちょっと落下の危険があるということで設置しないと。それはそれでそのとおりでわかりますが、公民館、スポーツセンター、やっぱり2階以上の部分でもベランダがないところ、ベランダがあるところしか設置しなければいいんですが、見ているとベランダがないところもあります。そこに網戸を設置するとしたら当然学校と違ってその下を通る人は少ないとは思いますが、そこら辺の落下の危険等々それはどうなのか。小中はきちっと考えておられるのに公民館、スポーツセンターはどうなのか。そこら辺この前議案説明聞いていて不思議に思いましたのでお聞きします。以上でございます。

○子育て支援課長（古布真弓君）

議長。

○議長（林 健児君）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

令和元年度分の財源更正のところですが、こちら主に保育園の延長の預かりを利用した保護者の方が申請するものでございます。令和元年度に利用した分を令和2年度になってから申請して、令和2年度分の予算で町が払うものがございます。そちらにつきまして国県の令和元年度分の実績報告を修正して令和元年度分として受けるものでございますのでよろしく申し上げます。

○保健センター所長（吉本清美君）

議長。

○議長（林 健児君）

保健センター所長。

○保健センター所長（吉本清美君）

急病診療所の昨年度との状況の比較ということですが、昨年度は4月25日から完全に閉館をしていたという状況で、その後5月31日から日曜日だけ再開したということです。実質4月だけ平日をやっていたということです。今年度につきましてはその状況が続いているということで受診者の状況としてはほとんど変わらないような人数という見込みであります。以上です。

○都市整備課主幹（八神幸夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

都市整備課主幹。

○都市整備課主幹（八神幸夫君）

物件補償費120万でございます。こちらにつきましては、鑑定評価を出しておりますので算出された金額でございます。以上です。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

議長。

○議長（林 健児君）

学校教育課長。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

コンピューター室改修によって35人学級どこまで耐えられるかということですが、基本的には今回改修させていただいたことによって、この35人学級には対応できていけるという現状では考えております。ですが、特別支援教室の生徒がふえた場合にはちょっとまた状況が変わってくるかと考えております。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

議長。

○議長（林 健児君）

公民館長。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

網戸の落下についてでございますが、3階4階はベランダがあります。2階も東側はベランダがあります。北側、西側、南側につきましては落下して人に危害が当たるような危険な箇所につきましては、当然固定式にしてとめる予定はしてございます。以上です。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（恒川 覚君）

議長。

○議長（林 健児君）

スポーツ課長。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（恒川 覚君）

スポーツセンターもトイレ等改修工事の中に一部網戸の設置がございます。そこにつきましては、1階の部分についてははき出しの大きな窓ですのでそこは当然落下とかはございませんのでそのままつけさせていただきます。ただ、2階の会議室と選手ミーティング室の窓につきましては腰高の窓でございます。一応落ちることがないということである程度安全を確保できるということでそちらの方には従来の窓に網戸をつけさせていただきたいと思っております。なお、網戸がない状態でも今開けて使っておりますので、皆さん会議等で使うところですので転落の危険性はないというふうに思っております。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原です。るる説明いただきましてありがとうございます。大体理解はできましたが、1点、急病診療所の関係ですが、今年度もやっぱり日曜日だけ。診察時間が短くなっているということよろしいんでしょうか。ちょっとそこら辺、昨年状況はわかったんですが、今年状況が少しわかりにくかったのでお願いいたします。

○保健センター所長（吉本清美君）

議長。

○議長（林 健児君）

保健センター所長。

○保健センター所長（吉本清美君）

今の診療体制が継続する見込みです。

○9番（吉原経夫君）

今というのはどういう。

○保健センター所長（吉本清美君）

今現在が日曜日だけという状況で。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○12番（下方繁孝君）

議長。

○議長（林 健児君）

12番下方繁孝議員。

○12番（下方繁孝君）

補正予算でいくと28ページお願いしたいと思います。備品購入費で区分17ですが、便座除菌用のディスペンサー購入費ということで68万7000円の予算出ています。

それと30ページ、区分の12のところ委託料がございまして電子計算業務費ということで3点ありますが、テレビ会議等環境拡充業務委託料844万8000円。それと公開型GIS運用業務委託料520万3000円。もう1点、行政手続オンライン化調査及び計画策定業務委託料330万。このことにつきましてこの前説明いただいたんですが、もう少し内容の説明をいただきたいと思います。お願いします。

○総務課長（佐藤友哉君）

議長。

○議長（林 健児君）

総務課長。

○総務課長（佐藤友哉君）

まず28ページの備品購入費、便座除菌用ディスペンサー購入費でございまして。こちらの内容としましては、各公共施設の洋式トイレに設置するものでございまして、合計で104カ所設置するものでございまして。物としましては、薬液容量450ミリリットルのものを104カ所に設置しまして、1回0.3ミリリットルが吐出するものを設置するものでございまして。以上です。

○企画課長（水野克哉君）

議長。

○議長（林 健児君）

企画課長。

○企画課長（水野克哉君）

電子計算業務費の委託料でございまして。まず順番に説明してまいります。テレビ会議等環境拡充業務委託。こちらにつきましては、昨年度各会議室に無線アクセスポイント

を使っての事務ができるような環境整備、またオンライン会議ができるような環境整備をさせていただきました。それを今回の予算につきましては拡充ということで第5会議室、第8会議室、こちらを同様の整備をさせていただくものでございます。

続いて、公開型GIS業務委託料。こちらにつきましては、現在主に建設部の方でGIS、地理情報システムを使用しております。それを外部、インターネットから閲覧できる公開型のシステムというものを入れさせていただくことによりまして、その今の庁内のシステムと連携させていただいてバージョンアップを図っていくものでございます。この導入によりまして、現在窓口で都市計画道路でしたり、用途地域そういった情報を窓口とか電話でしか確認ができなかったものがインターネットを通じてできるようになりますので、窓口の混雑や滞在時間の短縮というものが図れるものでございます。よって、役場内の密も解消ができるのではないかとということでございます。そのほかにも公開できるものを精査して進めているところでございます。

続きまして、行政手続のオンライン化調査及び計画策定業務委託料でございます。こちらにつきましては、国の自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画、この中で令和4年度中に全ての自治体でマイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能にしろということを示されております。31手続が示されておりますが、その中で市町村が関係するものは26手続となっております。それはもちろんですが、そのほかにも行政手続のオンライン化として施策を講ずるように努めていかなければならないということと規定されておりますので、そのほかにもオンライン化の可能なものを洗い出して実現までの計画を進めていくものでございます。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○12番（下方繁孝君）

議長。

○議長（林 健児君）

12番下方議員。

○12番（下方繁孝君）

ありがとうございました。最初に区分17、28ページの備品購入費の便座除菌用のディスペンサー購入費ですが、104カ所というと町内の公共施設全ての洋式トイレということですかということを確認したいと思います。これの104カ所を管理するのはどのような管理の仕方というか、広範ですのでどのように担当の方がその管理をするかということをお聞かせください。今のコロナの感染のことがあるものですから永久にこの洋式のトイレはこのように便座の除菌の薬を使うということだと思っておりますので、ちょっとその辺のところを教えてください。

それから委託料の方ですが、テレビ会議用ということで説明いただきました。各会議

室というと本庁舎の会議室だと思うんですが、これ目的というか何のメリットをもって委託するかということがあれば教えてください。

また同様に公開型GIS運用業務委託料についても、これを運用業務を委託するのは目的、そして何のメリットがあるかというところをお聞きしたいと思います。

あと行政手続のオンライン化ですが、これからのことであるものですからこれにつきましては26の手続が可能ということですが、デジタル庁の発足も出たばかりだと思いますのでまだまだ今後いろいろと話が国から出てくるかもしれませんが、26手続ができるよということですので、これについても何ていうかお示しいただければなと思います。以上です。

○総務課長（佐藤友哉君）

議長。

○議長（林 健児君）

総務課長。

○総務課長（佐藤友哉君）

それではまず備品購入費、ディスペンサー購入費の104カ所の内訳でございますが、施設としましてはまず役場庁舎、こちらに16カ所。八ツ屋のコミュニティセンターに7カ所、砂子防災ふれあいセンター、こちらに1カ所。西條のコミュニティセンター8カ所。総合福祉センター26カ所。児童クラブにつきましては南部が5カ所、東部が3カ所、西部が4カ所。あと保健センターに8カ所。公民館に10カ所。スポーツセンターに16カ所。合計104カ所という形になっております。

今後の管理はどのようにするのかという御質問でございますが、各施設のディスペンサーを今後総務課の方で一括で購入し、配置していくわけですが、管理については各施設の施設管理者にお願いする形になりますが、毎日その各施設の清掃の際に薬剤は補充していただいて使っていただくという管理になるかと思えます。

今年度におきまして消耗品として除菌クリーナー、こちらも総務課の方で一括で購入していますのでこちらを使って補充していくという形になりますのでよろしく申し上げます。以上です。

○企画課長（水野克哉君）

議長。

○議長（林 健児君）

企画課長。

○企画課長（水野克哉君）

それではテレビ会議の拡充業務委託料のメリットでございます。主にコロナ対策ということで整備させていただいております。一つはテレビ会議ということで国・県等の会議が今オンライン化で進められております。本庁舎になりますが本庁舎の会議室をイン

ターネットを通じた会議ができるような環境整備ということで、この需要は昨年度から高まっておりますので残りの部屋のところをふやさせていただくというものと、あと今こちらも総務課の方と進めておりますが分散勤務ができるような端末も用意させていただいております、密にならないような体制づくりができるように環境をつくり上げておるものでございます。

GISにつきましては、先ほども申し上げたところでございますが、やはりインターネットから閲覧できる環境をつくることによって、窓口まで来なくても知りたい情報がわかるというものをつくり上げていくものでございますので、こちらもコロナ対策ということで進めているものでございます。そこが第一のメリットというふうに考えてございます。

最後にオンライン化の調査でございます。26手続と申し上げました。済みません、ちょっと説明が不足しておりましたが、子育てに関するもので15手続、介護の関係で11の手続が現在示されております。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第26号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第3、議案第27号令和3年度大治町介護保険特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原経夫でございます。11ページをお願いいたします。低所得者保険料軽減繰入金でございますが、これはもともとどのぐらいを何人ぐらいで予定していて何人ふえたのか。そこら辺少し御説明をお願いしたいと思います。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

まず、もともと予定していた人数でございます。まず第1所得段階の方で991人を予定しておりました。第2所得段階441人を予定しておりました。第3所得段階369人を予定しておりましたが、実績におきまして第1所得段階の方が998人、第2所得段階の方が445人、第3所得段階の方が371人となったものでございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第27号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第4、議案第28号令和3年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第28号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第5、議案第29号令和3年度大治町下水道事業会計補正予算（第1号）を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原経夫でございます。9ページから12ページにかけてお願いいたします。収益的支出と資本的支出で人件費一般職6人と3人が分けられております。以前もちょっとお聞きしたかもしれませんが、どうやって分けてきたのか。人件費6人、3人ですね。その根拠というかそれがあればお願いいたします。

○下水道課長（済田茂夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

下水道課長。

○下水道課長（済田茂夫君）

この人件費の人数の分けでございますが、まず収益的収支の方につきましてはいわゆる事務職員になります。続きまして10ページ、11ページでの資本的収支の人件費につきましては、いわゆる技術職員ということで6名と3名に分かれておりますのでよろしくお願いたします。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第29号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第6、議案第30号令和2年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○7番（松本英隆君）

議長。

○議長（林 健児君）

7番松本英隆議員。

○7番（松本英隆君）

7番松本です。ページ数が128ページお願いします。この中の中心からちょっと下の方にある心身障害者扶助のところでは700万円。この中で成果報告でいうと身体障害者の方の人数が合計で前年度の決算との対比で21人減っております。障害者の方が21人減ったというこの理由というか何かどういうことで減ったのかというのをお聞かせください。

その下の障害福祉サービスのほうです。これも令和元年度との対比で6000万以上金額がふえております。利用されることは本当にいいことだと思うんですが、これだけふえた何か要因、何かを変えたりとか。この6000万円ふえたことに対して令和3年度の予算は3000万実績当たり計上はされているんですが、そこら辺ふえた、何か理由といいますかそれをお聞かせください。

あともう1つ下の地域生活支援料の方ですね。こちらのほうは逆に700万円ほど減って

おります。これ何がどういう理由で減っているのか。利用者が減っているのか、なぜ減ったのかということがもしわかればお願いします。

次のもう1個下の更生医療費の方ですね。こちらのほうでこれもまた成果報告書なんですけど、更生医療の中の入院の人工透析のところ。令和元年度でいいますと人数6人、金額が322万2000円。今回の令和2年度の決算、人数は同じ6人です。金額は121万9000円、約200万円減っております。同じ人数で、ちょっとごめんなさい、人工透析がちょっとよくわからないのですが、この200万円減っているのを教えてください。

最後にもう1個下の障害児通所支援。こちらの中でこれも成果報告なんですけど、高額障害児通所給付金。元年度までの延べ人数そして6万4854円。今回2年度の表記が実人数として4人、1万1847円。これ何か理由があって変えられたかなと思うんですが、なぜ変えたのかというのと5万円近く支給が減っているんですが、これの中の理由とかそれをお聞かせください。以上です。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

まず心身障害者扶助料の関係でございます。人数につきましては元年度と比較すると21人減ということでございますが、こちらは手帳の交付者に対して扶助料を支給しているという状況でございますので、その人数が減ったということでございます。

それからその下、障害福祉サービス費でございます。こちら約6000万円ほどふえたという要因でございます。ふえた要因でございますが、主にグループホーム、それから就労継続支援、こちらがそれぞれ主に増加となった要因でございます。グループホームにつきましては、施設入所よりも比較的自由度が高いということで利用者が多いということを知っております。それから就労継続支援につきましては、こちらのほう利用者の口コミであったり、啓発等々いろいろ行っておりますので事業者もふえているということで給付費が伸びているという状況でございます。

それからその下の地域生活支援事業費でございます。こちらは約700万円ぐらい減っているということでございますが、その理由につきましては、まず移動支援につきまして約200万円ほど減っております。それから地域活動支援センター、こちらが約300万円減となっております。あと日中一時支援、こちらが約220万円ほどの減というふうになっております。

その下、更生医療費・育成医療費の関係でございます。こちら元年度の決算と比較いたしますと約800万円ほど減っているということでございます。その理由につきましては、先ほどの人工透析の方で元年と比較して1人減ってはいるんですが、その減った方とい

うのが生活保護受給者の方でございます。この方、生活保護になりますと非常にその給付費が高く、全額町の負担ということになりますので1人分の減ではございますがその分の差額の減額が生じたということでございます。

通所支援の関係でございます。こちらは増額となった理由でよろしかったですか。

[発言する者あり]

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

表記方法でよろしかったでしょうか。実人数のほうの方がわかりやすいということで表記をちょっと変えさせていただいております。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○7番（松本英隆君）

議長。

○議長（林 健児君）

7番松本議員。

○7番（松本英隆君）

7番松本です。まずはちょっと身体障害者の方の手帳のほうが減ったということなんです。引越されたかなにかで町からおみえにならなくなったということなんですかね。そこら辺はどうでしょう。

あと、先ほど来説明されていまして生活地域支援の方で利用者というか金額が移動支援とかで減っている地域支援センター事業が減っているということなんです。なぜ減ったのか。何か利用しなくてよくなったのか。利用する申請が難しくなったとか、利用しづらくなったとかそういうことではないですよ。ちょっとそこら辺減ったのは数字見ればわかりますので、先ほど最後の医療給付4人とかって人数のほうということですが、逆に前年度の延べ人数と比較もできないのですがどうなのでしょう。その4人というのは延べ人数からすると減っているんですかね。金額もかなり減っているんですが、これもどうなんですかね。ほかのところは上の方を見るとみんな延べ人数で書いてありますよね。どうなのかな。利用者が減っているのかどうかですね。減っているならなぜ使わなくなったのかというのが一番ちょっと心配なんです。そこら辺お願いします。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

まず扶助料の関係でございます。人数につきましては昨年度と比較いたしまして減っているということではございますが、全体としてこれ成果効果に上げている人数につき

ましては令和3年3月1日現在の人数になっております。ただ、手帳の交付者の障害者の人数につきましては、昨年度と比較すれば全体としてはふえているという状況ではございません。

それから、地域支援事業費の減となった理由でございますが、減った理由のその内容まではちょっと把握はしていないんですが、コロナによる影響もあるのかなというふうには考えております。

あと32ページの延べ人数が減っているかどうかということでもよろしいでしょうか。延べ人数……、ちょっと暫時休憩をお願いします。

○議長（林 健児君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時46分 休憩

午前10時54分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（林 健児君）

休憩前に引き続き会議を進めます。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

大変失礼しました。まず32ページの一番下の高額障害児通所支援給付費の人数でございます。今確認してきましたところ、昨年度令和元年度の決算の成果報告書につきましては延べ人数で表記をさせていただいておったんですが、延べ人数ではなくて実人数であったということで令和元年度につきましても実人数としては7人だったと。令和2年度が実人数で4人だったということでございます。

それから扶助料の人数の減少になった理由ですが、死亡や転出による減少となったというものでございます。以上でございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○6番（若山照洋君）

議長。

○議長（林 健児君）

6番若山照洋議員。

○6番（若山照洋君）

6番若山照洋です。146ページ、病児・病後児保育事業委託料なんですが、令和元年度が1000万円。開所日数が279日、延べ利用児童数が383人なんです。今回960万上がっていて286日に対して49人の延べ人数なんですが、この金額の出し方をちょっと教えていただきたいのと、あと公民館費の図書購入費、約1,000冊購入されているんですが、もともとあった本、ただ単に1,000冊購入なのか。もともとあった本はどうしているのか。1,000冊分ふやしているのか、その置き場がなくなるような気がするんですが、入れかえているのか。入れかえているなら処分の方法、どういうふうになっているのかをちょっとお聞かせください。

○子育て支援課長（古布真弓君）

議長。

○議長（林 健児君）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

病児・病後児保育の委託料についてでございますが、こちらは病児・病後児保育の事業費にかかるものを委託としてお支払いしております。今回、コロナ禍により利用人数は減ったんですが、管理者と常勤の職員は常に勤務をしております。それ以外の方につきましては利用の児童があるときのみ勤務となりますので実績の金額が減ったものでございますのでよろしく願いいたします。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

議長。

○議長（林 健児君）

公民館長。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

図書でございますが、1,002冊は新冊として増冊したものでございまして、あと古いものにつきましては、どうしようもならないものは廃棄。あと古くなくても使えるものは保管してございまして、古本まつり等を開催したときに住民に配布したりしてございます。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○2番（鈴木康友君）

議長。

○議長（林 健児君）

2番鈴木康友議員。

○2番（鈴木康友君）

2番鈴木康友です。124ページ、福祉巡回バス等運行事業。こちらの方、予算額よりも

大幅減になっておりますが、こちらにつきましては概要の方で御説明いただきました新型コロナウイルス感染症拡大防止の運休期間に基づくものによる決算額の減なのか。それはまた契約に基づいて休業補償とか含めてこのような額になったのかということをお説明いただければと思います。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

巡回バスの関係でございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために運休期間がございました。運休期間につきましては4月7日から7月9日まで、今年の1月18日から3月3日まで運休しております。それに伴いまして金額のほうが予算よりも減少しているということでございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○2番（鈴木康友君）

議長。

○議長（林 健児君）

2番鈴木康友議員。

○2番（鈴木康友君）

ただいま答弁いただきました中で少し再質問になるんですが、こちらについては運休は概要書の方で御説明、期間ですね、いただいていたんですが、こちらはその休業期間に基づいて契約等で運行が減った場合については休業補償があったりとか、この金額でおさめますよという契約等々があるんですかという質問はもう一度返答というか再答弁いただきたいなど。

続きまして128ページ、先ほど松本議員の方からも質問がありましたが、少し自分も追加で確認させていただきたいです。共同生活援助グループホームの利用者人数がふえていると。先ほどの答弁の中でも利用者がふえている、また事業者に対する呼びかけにより利用者数や事業者数がふえているということですが、そちらのほう施設、団体数の増加または申請団体数がふえているのかという詳細がもしわかればお答えいただきたいです。

続きまして226ページ、教育費の方で大治小学校で購入になられている検食用の冷凍庫ということですね。こちらのほうがどういったものなのかなというのが教えていただければと思います。

続きまして234ページ、こちらの方も教科教材備品で上げていただいております教材の

中にプログラミングドローンということでこちらの物といいますか、購入したものの詳細を教えていただければと思います。以上です。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

まず初めの124ページ、巡回バスの契約の関係でございます。内容的には運休が生じるとともに使用した場合には日割り計算をするというような契約上の内容になっております。

次にグループホームの数でございますが、施設の許認可につきましては県の方で行っておりますので町の方の申請数とかいうものはちょっとこちらの方では把握しておりません。以上でございます。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

議長。

○議長（林 健児君）

学校教育課長。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

検食用の冷凍庫ということでございますが、これは給食をつくりましたら2週間冷凍保存をしないとイケないという規定がございまして、そのための冷凍庫でございました。壊れてしまいましたので急遽購入したというような形になります。

あと中学校費のドローンですが、授業でプログラミングを行うための小型のドローンでございます。パソコンで操作を入れまして、そのとおりにドローンが飛ぶようなものでございます。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原経夫でございます。何点が質問させていただきます。

224ページ、その小学校のタブレット機器等借上料また校内通信ネットワーク整備工事。同様に232ページも中学校でございます。これですが監査意見の最後のところにも述べられておりますが、教育部門におけるG I G Aスクール構想は、小中学校の一斉休校

の対応に伴い、当初の計画より大きく整備が進められたということで評価をされておられます。当然それで学校の授業等々で昨年から使われているということで非常にいいことではございますが、これ何のためにやったのかというところとやっぱりコロナ対策でコロナのために学校に来れない子供たち、また学級閉鎖のときの対応ですね。そのための一番だと思えますよ。ただ、それが昨年もやられていないし、いわんや今でもやられていない。検討する検討すると言っていますが、一番大切な部分、その目的のために国が予算をつけてやってくれたと思っているんですが、それがやられていない。副次的に授業等で使われている。それは非常にいいことなんです、一番大もとがやられていない。これは教育委員会としてどうお考えなのかというところでございます。

また、適応指導教室にはタブレットは持ち込めない状況。212ページに適応指導教室の職員報酬等々がありますように、ちゃんとスタッフがいるのに使えない。当然そういうWi-Fiが整備していないからでございますが、そうしたら家庭に持ち込むのを許可するのと同じ時期にやっていくというような方針だとお聞きしまして、家庭と適応指導教室違うでしょう。適応指導教室は出席も認められているし、授業扱いになっておりますし、スタッフもちゃんという。そこら辺どういうふうにお考えなのか。

あと222ページ、230ページ。222ページは小学校給食調理業務委託料、230ページは中学校の同様でございます。これは民間業者に委託をしておりますが、そこでやはり違う小中学校ではございませんが食中毒があったとか、また労働基準監督署の関係のことがあったとか契約書の中でそこら辺のコンプライアンス、やっぱり町が委託するんですからそういう事業者のコンプライアンスの問題ですね。コンプライアンスに反することがあったらどうかとかそこら辺の一文はないのかとそれをお聞きします。

あと166ページ、委託料のことでがん検診でございますが、検診率ですね。実績報告書に人数が書いてありますが検診率がございません。検診率はどれぐらいか。他の市町村に比べてそれが高いのか低いのか。それをお聞きします。

最後に168ページ、感染症対策事業費で子宮頸がんについてでございます。非常にいろいろなさまざまな問題があつて接種者も少ない状況でございますが、やはりこれは新聞報道などによりますと産婦人科学会さんも対象の年度をふやすなど考えておられる。ここら辺非常に接種率が低い。ここら辺はどうお考えなのか。以上、お聞きしたいと思います。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

議長。

○議長（林 健児君）

学校教育課長。

○教育部次長兼学校教育課長（水野泰博君）

まずタブレット、校内ネットワーク、いわゆるGIGAスクール構想の御質問でござ

いますが、昨日一般質問の中でも御回答させていただいておりますが、現在鋭意準備を進めておるところでございます。適応指導教室につきましても昨日答弁させていただいたとおりでございます。

あと給食室の調理業務委託の中にコンプライアンスという項目はあるかということでございますが、コンプライアンスという項目はございません。以上です。

○保健センター所長（吉本清美君）

議長。

○議長（林 健児君）

保健センター所長。

○保健センター所長（吉本清美君）

がん検診の受診率についてでございます。がん検診の受診率は全体的には低かった、数パーセント低かったという状況です。受け方としましては医療機関で受ける個別検診と集団検診がありまして、率が低かったのは集団検診の方の受診率が低かった状況です。医療機関で行う個別検診についてはほぼ例年と変わらない状況ではありました。概要的にはそういったこととなります。他の市町村との比較はまだ出ておりませんのでちょっと不明ですが、集団検診を実施していない市町村も昨年度はあったように聞いております。

それから子宮頸がんの接種率に関するものですが、接種率はかなり低い状況であります。昨年度、国の方からの通知がございまして、接種することの選択といたしますかそういったことで情報提供するよというところがありましたので、そちらのほうで保健センターとしては周知をして、接種するしないというところは御本人や保護者の方で理解していただいで接種をしていただくというような対応をしております。以上です。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

先ほどタブレットの家庭への持ち帰り、または適応指導教室のWi-Fi整備を検討しているという御回答でございましたが、私がお聞きしたのはそちらこそ先に優先すべきではないのか。教室で使うこと、当然それは必要なことでございますが、それよりもコロナ対応。コロナの中で行けない、休まざるを得ない方、学級閉鎖、そういうのを対応していく、そちらが先であるはずなのになぜ先送りされてきたのか。検討したと言っているのはわかりますが、なぜおくれたのか。そこを聞きしているわけでございます。

あとそれにつけ加えて点検の評価報告書で毎回気になっているんですが、適応指導教室にかかわることですが、「力の育成～不登校0～」と。不登校をゼロを目標にしていると。これは非常に私としては違和感が前から毎回ありましたが、最近NHKテレビのドラマの中でも「ひきこもり先生」という中で不登校ゼロと掲げている教育委員会、学校が出てきて、やっぱり子供たちにプレッシャーを与えていると。これは少し教育方針としてどうなのか見直していただきたいので。ドラマの中ではございますが、そういうのがやっぱり一般的な考え方になっているんじゃないかと思っております。その2点ですね、重ねてお聞きをいたします。

〔「決算審査だよ」の声あり〕

○9番（吉原経夫君）

方針ですよ、教育方針。大事でしょう、そっちのほうが。

○教育長（平野香代子君）

議長。

○議長（林 健児君）

教育長。

○教育長（平野香代子君）

まずGIGAスクール構想が出てまいりましたのはコロナの前でして、1人1台来るよと。当時は3分の1という話でございました。私たちはそれに乗っていこうとして、たまたまその後コロナが出てきたので早まったことは事実でございます。ただ、私たちがGIGAスクール構想を進める目的はあくまで誰一人取り残さない、一人一人に合った学びを保障するというところからきているものであって、目的がコロナでなかったことだけはちょっと確認をさせていただきたいと思えます。たまたま、まさに個の学びを保障するのがGIGAスクール構想ですので、家にいてもできるよねと。昨日もお話をさせていただきましたが、家庭学習が実のあるものになってきた。これは年齢の高い子ほどそうなんですが、小さい子はどうかかなということは当初より思っているところではありますが、それがまさにぴったり合ったと。時代に合ったというのは変ですけどもそれが1点させてください。

適応指導教室につきましては、昨年度よりこれは指導員の方からも「私たちもやりたい。」本当にありがたい言葉でした。指導員が進んで。私たちはやってほしいんですが、さまざまな事情を抱えたお子さんですのでなかなか難しいんじゃないかと思っていたところですし、指導員の皆さんにもそこまで強制していいものかどうかというのはちょっと迷ったところもあるんですが、指導員からそんな声が出てきてありがたいので、私たちの対応がそのところはちょっとおくれたのかなと思っておりますが、当初よりこれは計画をしているところでありました。

それから不登校ゼロというのは昨年でしたか、答弁もさせていただいたところであり

ますが、目標としてはゼロという目標値ですので、目標値が20とかそれはなかなかというところで、一つ前の教育大綱に不登校ゼロというふうにさせていただいているところですが、それは私たちもゼロはなかなか、来ないからといって否定するという教育はしていないので、町長もいつも言うていただきますが、どの子も社会で自立できる、そこを目標にしようということは当初よりやっていることで、目標としてどうというのはちょっと話が違うと思います。そこで、子ども応援本部を立ち上げ、地域との連携を強めるということでもつっていただきました。だから適応指導教室のみならず、例えばいろんなところで、例えば農業体験であったりとか、あるいはふれあいフェスティバルももともとかなりボランティアで、当日のボランティアはやっているんですが、学校に来れない子たちに例えば準備の段階から、例えば商工会の皆さんであったり、保健センターの皆さんであったりというところでお手伝いできないかなと。あるいは公民館の図書室で勉強できるという子はそれも受け入れていこうじゃないかという意味でまだ実態がないものですからまだ大きな声で言えないところではありましたが、それが地域連携というコーディネーターを置いて進めているところです。まだ本当に「さあ」というところでコロナでなかなか会えない、施設も閉館というところに進んでいないところですが、目指すはそこです。議員の皆さんも御理解をいただけるとありがたいと思います。以上です。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

まず不登校ゼロということで一応目標として上げているが、学校側、先生方、また子供たちに強制するものではないと。当然目標は必要なのでそこら辺過度なことはしないというふうに解釈は、理解させていただきました。努力されておられると。

あとGIGAスクール構想ですが、コロナの前からありますがコロナの中で加速されたのは事実でございます。また、誰一人取り残さない。それはすごくいいことで、でも現実、今適応指導教室の方が取り残されている。また、コロナで休まざるを得ない方、また学級閉鎖になっている方、結果として教育委員会努力はされておられますが、その点はやっぱり教育委員会も重々お考えだと思いますので早急に対策をとっていただきたいとそれをお伝えして質問を終わります。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○11番（横井良隆君）

議長。

○議長（林 健児君）

11番横井良隆議員。

○11番（横井良隆君）

11番横井良隆でございます。成果報告書を拝見させていただきました。新型コロナウイルス感染拡大のためにいろんな公民館講座、スポーツセンターの講座が住民向けにできなかったという御報告をいただいておりますが、どのくらい講座が延期になったのか御報告いただきたいと思っております。

○議長（林 健児君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時18分 休憩

午前11時19分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（林 健児君）

休憩前に引き続き会議を進めます。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

議長。

○議長（林 健児君）

公民館長。

○公民館長兼西公民館長（吉川孝志君）

公民館講座につきましては、前期講座として14講座計画をいたしましたでしたがそれが全て中止になりました。それから後期講座につきましては、1つの講座で5回の講座が4回になったということでその1回分が中止となりました。以上でございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（恒川 覚君）

議長。

○議長（林 健児君）

スポーツ課長。

○スポーツ課長兼スポーツセンター館長（恒川 覚君）

スポーツセンターの講座でございますが、もともといろんな講座を予定をしておりました。また講座以外にも各団体のやっているスポーツ大会とかありましたが、できるものはなるべくずらして行いました。ただし、どうしてもできなかったスポーツセンターの講座につきましては、それでも何とかやりまして5講座と短期講座は1講座を開催ができました。ただ、水泳教室につきましては全てこちらの方は感染防止のために中止をさせていただいたという経緯がございます。以上です。

○11番（横井良隆君）

議長。

○議長（林 健児君）

11番横井議員。

○11番（横井良隆君）

そういった部分で私も先日指摘をさせていただいたんですが、学校内のICT化はどんどん進んでおります。いろんな形でこの補正予算も含めて御提案をいただいている内容を見ますとほぼコロナ交付金を充当した施策を打っていただいております。そういった中でこれ来年度になるかもしれないが、公民館と西公民館、スポーツセンターの中でやはり住民向けの生涯学習がコロナだからしょうがないわということで延期、中止になってはやっぱり住民の福祉サービスの向上につながらないと思いますので、そういった部分の検討はこの決算を踏まえてWiFiをやっぱり公民館につけてほしいとか、そういうスポーツセンターに整備をしてほしいとかそういう声が現場から上がっていないのか、その点をお聞きしたいと思います。

○総務部長（大西英樹君）

議長。

○議長（林 健児君）

総務部長。

○総務部長（大西英樹君）

コロナ交付金につきましては令和2年度、令和3年度と事業が国の方から照会がまいります、町の方としましては各部局の方に照会をさせていただいている状況でございます。その中で限りある交付金を使うという中でいろいろ優先的に各部署が事業を考えてきてはいただいておりますが、今議員が言われるようなものの対策については上がってきてはいない状況です。以上です。

○11番（横井良隆君）

議長。

○議長（林 健児君）

11番横井議員。

○11番（横井良隆君）

そういった部分の決算を踏まえて、やはり私も住民の代弁者としていろいろな講座がなくなって非常に残念だということも聞いています。逆に町長はこの前7月7日にやられて認知症カフェとかそういったものをリモートでやられてたことを本当に喜んでいただきました。そういった部分で生涯学習のほうもやっぱりICTを進めるということで「コロナだからしょうがないわ」という形で捉えずに、何がリモートで講座ができるんだろうかとそういった部分を現場で逆に休館が続いている中で考える時間があると

思いますので、その部分をしっかり町民のために働くことをお願いして質問を終わります。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第30号は、予算決算常任委員会に付託します。

ここで暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時24分 休憩

午前11時29分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（林 健児君）

休憩前に引き続き会議を進めます。

日程第7、議案第31号令和2年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第31号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第8、議案第32号令和2年度大治町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第32号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第9、議案第33号令和2年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

てを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原経夫君議員。

○9番（吉原経夫君）

9番吉原経夫君でございます。まず38ページ、財産に関する調書をごらんください。決算年度末残高が1億7887万9124円、前年度の残高が2億892万7308円でございます。その前が2億2203万2501円、その前が1億8531万9262円ということで大体1億7000万から2億2000万ぐらいで推移をしています。大体3年に1回保険料改定をするわけですが、これだけあるんだったら保険料の引き上げ幅を上げるのを抑えるとか、据え置くとか、下げるとか、そういうことも考えれるんじゃないかと僕は思っているんですが、当初予算では3年度の最後の年、昨年度はそうなんですが、基金は最終的にどれぐらい残るのを予想されて、予定されておられたんでしょうか。基金だから昨年度3月31日の時点でどれぐらいの基金が残るのを最初3年前の介護保険料の計画を立てたときに予定していたんですかと。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

保険料の改定につきましては、先ほど言われましたように3年に1回行います。7期の計画期間、平成30年度から令和2年度までの3年間で基金につきましては7500万ほどを取り崩して保険料を設定させていただいておりますので、当時の基金残高からこの3年間で約7500万取り崩すという額で計画のほうを立てておりますのでよろしく願いいたします。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

ということは3年前、この決算年度末現在高の3年前が1億8531万9262円だったんですが、それで7500万引くと約1億1000万予定だったのが1億7800万。やっぱり予定より

ふえている。そこら辺見込み違いというかそれだけ保険料が高くなったという、取り崩す額が少なければ保険料は高くなるわけですから、そこら辺はどういうふうにお考えなのかということと、もう1つ財産に関する調書がございます。介護サービス事業勘定で59ページ、そこをごらんください。59ページに財産に関する調書でこれは毎年減っているわけですが、前年度末現在高が4164万1168円で370万9925円減っている。そうすると3793万1243円でこのとおりいくとあと10年ぐらいで基金はなくなるという計算になるわけですが、ただ町長としては町立デイサービスセンターは残していくと。町民のために残していくということですから、最終的に基金がなくなったら一般会計から繰り入れるということになると思いますが、そこら辺減っていく現状はどのようにお考えなのか。また、当初予算でも減っていく予定だったのか。そこら辺をお聞きしたいと思います。どうでしょうか。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

議長。

○議長（林 健児君）

民生課長。

○福祉部次長兼民生課長（加藤 謹君）

御指摘の基金残高についてでございます。団塊の世代が75歳以上となる令和7年でさらに増加していくと、介護保険料も上昇していくという推計もしております。今後も次期計画においても急激な保険料の上昇を抑えるよう基金を有効に活用していきたいと考えております。以上でございます。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（伊藤正典君）

議長。

○議長（林 健児君）

老人福祉センター所長。

○老人福祉センター所長兼在宅老人デイサービスセンター所長（伊藤正典君）

2点御質問をいただきました。基金についてでございますが、当初予算におきましては、歳入につきまして利用者また介護保険の方からいただくサービス収入、それと基金をもって予算額としておりますので、基金につきましてはその予算編成時において必要とされる分の取り崩しをしておりますが、年度末におきまして利用者からいただく収入また繰越金等を見て基金の取り崩し額を決めておりますので、当初予算額に比べまして昨年度は少ない金額の取り崩しはいたしました。実際決算年度中、増減額に占める基金の取り崩し額は少ないものとなっております。

また、基金が毎年少なくなっていくということにつきまして、どのように考えている

かというお尋ねでございますが、町営で介護福祉事業を行わせていただいている中で、利用者の方の御負担等を見ながら私どもも行っている地域密着事業の中でできる限りのことをする。そのために必要な基金残高を見ながら取り崩しをさせていただいておりますという状況であることを御理解いただきたいということでもよろしくお願いいたします。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

○9番（吉原経夫君）

議長。

○議長（林 健児君）

9番吉原議員。

○9番（吉原経夫君）

まず最初の方の基金ですね。介護サービスじゃない方、ちょっと名前を忘れました。今見ます。保険事業勘定における基金でございますが、昨年までの3年間で7500万円の減の予定であったが、実際は減が700万ぐらいですか。ちょっと後々令和7年度等々に非常に支出がふえる見込みだということではありますが、ちょっと見込みが余りにもずれているんじゃないかと。ずれるということはそれだけ保険料が高くなるということでございます。当然ずれはありますが、余りにもずれが大き過ぎるのではないかと。これは今年の介護保険料、今年から3年間決まっちゃっておりますが、やっぱりきちっと3年間の計画を立てるときに考えていただきたいなというふうに思います。

あと、介護サービス事業勘定でも当初予算より取り崩しが少ないということでそういった点は理解できましたが、結局介護サービスというのは利用料というか、利用料と人数、利用時間ですかね、そういうのである程度決まってくるものなので、そこら辺努力はされておられると思いますが、ある程度定員に近い人数来ていただくかということ少しづつ考えていただきたいなと。定員を超えたら絶対だめですが、定員までは利用していただく。これは町民のサービス向上につながるわけですから定員になるべく近いところで利用していただくような努力を求めていると思います。以上で質問を終わります。

○議長（林 健児君）

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第33号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第10、議案第34号令和2年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第34号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第11、議案第35号令和2年度大治町下水道事業会計決算の認定についてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第35号は、予算決算常任委員会に付託します。

日程第12、議案第36号大治町道路線の認定についてを議題とします。

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（林 健児君）

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第36号は、総務建設常任委員会に付託します。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時41分 散会